

第9回黎明祭テーマは

「一人一人の色で虹を作ろう」 ～It's show time.～

に決まりました。

学園祭の方向性を決める大事なテーマ設定に、過去3年間のテーマとその意味の説明がありました。

1年生に三校合同でやっている企画や学園祭の意義を伝え、早速学年別でテーマについてグループ討議を行いました。

1年生は、山田君(105)が「It's show time.が良い」と声をあげました。これは、「出番だ!」という意味で、学園祭に向けて勢いが出るテーマだということです。そこに看護科の生徒が、一人一人が自分の出番で自分の個性や色を出せるような学園祭にしたいという意味を込めて、～一人一人が色を出せ～というサブタイトルをいれる形になりました。



2年生はキーワードに「コロナに負けない」「笑顔」「平和」がキーワードになると考え、3つの案が出ました。

① Yes, we can

コロナに負けない!というところから、できないことよりできることを見つけるという意味が込められている。

② Smile & Peace

笑顔と平和というどちらも大切にしたいという意味が込められている。

③ No peace No life

自分たちが楽しむところから始まって、周りも一緒に楽しんで、ただ、楽しむだけでなく、その中に平和がないと楽しい学園祭にならないという意味も込めた

3年生はたくさん候補が挙がる中、3つに絞りました。

① アゲアゲで行こう!

コロナでやれることが少なく、テンションが低くなっているから、テンションを上げていこうという意味

② 俺らのやり方でえ～

学校での制限があり、その制限がある中でも自分たちらしい学園祭を作っていきたい。

③ el Arco Iris (虹)

スペイン語のテーマは今までになかった。やんでいる人が多いが、虹を見たら心が幸せになるという意味を込めて考えた。スペイン語のテーマは今までなかったのも、新鮮である。



この後、全体討議でそれぞれの代表がテーマを出し合い、それぞれを尊重しながら、方向性を探りました。共通するところは、「みんなが輝ける学園祭にしたい」「クラス、学年の枠を超え、学園祭を成功させたい」という意見が強く、これから学園祭に向け、一歩踏み出す勢いがほしいということで、It's show time. は残したいとなりました。1, 2年の看護科の間で、意見のぶつかり合いがあり、上記のテーマが自分たちのものになっていきました。

討議内容を聞いていた「アゲアゲで行こう!」を押していた普通科の生徒に意見を求めましたが、真剣な話し合いにたじたじで「僕たちの意見はもういいです」と引っ込めていました。

三校合同企画は、今年黎明高校が幹事校になります。震災が起こって今年は節目の10年です。風化させないために、新たな発信をしていこうと考えています。

<リーダー研修参加者> 全1年9名 全2年8名 全3年11名 定時3名 計31名